



衆議院本会議場では、演壇に向かって右から三つ目の通路沿い、前から六席目の指定席に。

日本維新の会・衆議院議員 足立やすし

## 改革政党として 政権に「是々非々」で

■国会に初登院!

日本維新の会の公認を得て一ヶ月足らずで迎えた総選挙は大変に厳しいものでしたが、東日本大震災に向き合って政治を志してから一年九ヶ月、地元の同志の皆さまの命を削るような支援活動のおかげで、

小選挙区で勝利することができました。

思い起こせば、大阪維新の会の初陣となった一昨年四月の統一地方選挙から松本利明府議の選挙事務所に駆けつけ、大阪ダブル選、茨木市長選、そして総選挙をはさんで茨木市議選と、一貫して地元大阪・北摂で新しい政治運動に加わることができたことは、望外の幸運でした。

国会では、既に補正予算が成立、日銀等の同意人事や来年度予算案の審議に向けた準備等に奔走する日々です。

今後とも、①自公政権の政策に是々非々で向き合い、②大阪都構想など地域の声を国政にしっかり届け、③日本維新の会の政党としてのガバナンスを確立するために、力を尽くしてまいります。



■福島第一原発を視察!

日本維新の国会議員団としての最初の仕事は、福島の被災地の視察でした。私は、東日本大震災復興特別委員、原子力問題調査特別委員会の理事として、福島第一原発事故を教訓とする、新しいエネルギー政策と安全規制の確立に取り組んでいるところです。そもそも、私が政治を志すきっかけとなったのが東日本大震災と福島第一原発でした。

フォロワー募集!

足立やすしの  
“つぶやき”を  
フォローして  
ください



あだちやすし/昭和40年10月14日生まれ。茨木市立中津小、東中、府立茨木高校、京都大院卒。経済産業省大臣官房参事官を経て、昨年12月の衆院選で初当選。高校時代に水球で国体・インターハイ出場。衆院厚労委、復興特委、原子力特委理事

二十年余り勤務した経産省に留まって行政官として復興に



福島第一原発四号機前に降り立った議員  
(平成25年1月15日、日本維新の会撮影)

# 分権改革と 既得権の打破を

■ 社会保障の改革を担当！

国会議員は、いずれかの常任委員会に所属し、当該分野を専門に法案審査等を担当するのですが、私は、第一希望の通り厚生労働委員会に所属し活動しています。もちろん産業振興や都市整備にも取り

尽くす道もありましたが、保安院や東電に象徴される統治機構を根本から作り直すためには、選挙の洗礼を受けて、政治家として政権を担う以外にないと決意したのです。  
福島第一原発では、鉄骨がむき出しとなった四号機の前に降り立ち、メルトダウンを起した原発事故の凄まじさを肌身で実感しました。大事なことは、脱原発か推進か、といった、言葉だけのスローガンに拘泥することなく、まずは安全基準や規制委員会のガバナンスを確立してまいります。

組みませんが、少子高齢化する日本の国の形は社会保障改革が決する、との考えからです。こうした政策立案を担当する党の組織を政策調査会とい、既存政党ではその下に省庁別の部会がぶら下がっています。私たち維新の会は、それらを大きくくり化し、①国家

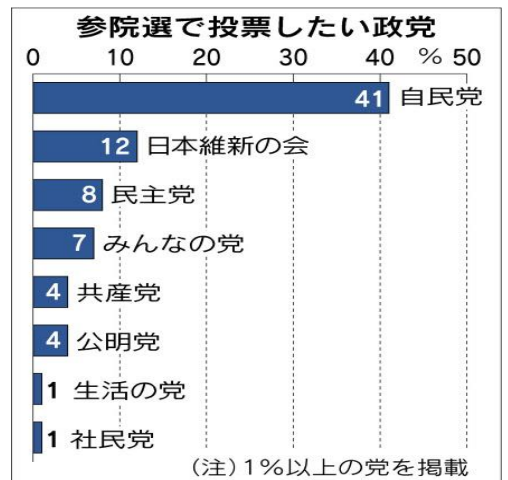
政策部会、②道州経済部会、および③道州社会部会の三部会体制で活動しています。  
国家政策部会では、外交・防衛、金融政策など将来も国が担当する分野を扱い、道州経済部会が産業政策やインフラ整備など広域行政、道州社会部会が医療介護など基礎自治体が担当する分野を扱います。こうして、大阪都の向こうに道州制の実現を確実に望みながら日々の仕事に邁進しているところです。



党の道州社会部会の様子  
(平成25年2月19日撮影)

■ 参院選、維新が二強に！

日経新聞の世論調査で、夏の参院選で投票したい政党の一位が自民党(42%)、二位



が日本維新の会(12%)となり、民主党(7%)を引き離して、自民と維新の二強時代が現実のものになりつつあります。  
今後とも、みんなの党との合流も含めて、政権を獲得できる一大政治勢力の結集に動いてまいります。

■ 国会見学ツアー随時開催中！  
足立康史事務所では、国会見学ツアーを実施しています。国会での論戦が連日テレビで取り上げられる中、その舞台である国会議事堂を実際にご覧いただけます。  
ご希望がございましたら、足立康史事務所までお気軽にお問い合わせ下さい。ガイド付きでご案内いたします！  
足立事務所  
03-3508-7100